

# 鶴が丘だより

東京都町田市三輪緑山二丁目2133-1  
鶴が丘ガーデンホスピタル  
院長 後藤 晶子  
電話 044(988)3121(内)

今月は、前院長永田實男の手記を  
ご紹介いたします。これは看護学校  
の講師をしていた頃、卒業文集へ  
寄稿したものです。先代の想いを  
込め、以前の書式でお送りします。

## パリーにて



一九七〇年九月

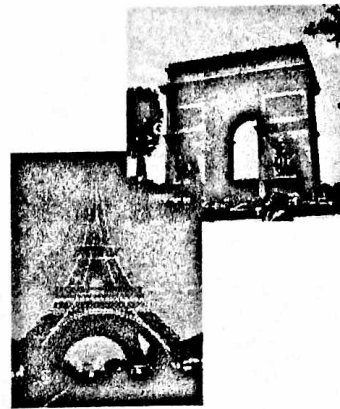
永田 實男



Bさん、わたしはとうとうパリー  
にきました。モスコ、ストックホルム、コペン  
ハーゲン、ロンドン、ローマ、ジュネーブ、ベルリン、ア  
ムステルダム、とあわたたしい旅を続け  
て、いま、夢にまで見たパリーにい  
ます。これまでどの都市にも深  
い感慨と想い出を残しましたが、  
パリーはわたしには一番素晴らしい  
ところでした。

パリーの風物は、すべてが絵であ  
り詩であると思います。街のた  
ずまいは華やかで情緒があふれて  
います。建物のひとつひとつに新

世紀の歴史と限りない物語りが秘  
められてあります。  
わたしは、ここセーヌ河の畔、ノ  
ートルダム寺院の庭のベンチで、しばし  
想いにふけています。



パリーには凱旋門に象徴されるホ  
レオンの栄光が輝いています。それ  
に満ちあふれた比類のない美術品  
の数々があります。モンマルトルの丘  
の踏みへらされた石畳には、ル、ア  
ールやストリロ、そしてフジタラが燃  
れた情熱のぬくもりが感じられるの  
です。秋の訪れを感じさせるこの  
丘からの眺めは、エッフェル塔がかすん  
で見え、しみじみとした美しさで  
わたしのこころを奪いました。

その丘の小道の両側に、ところ  
どころ穴があいているのに気付  
きます。丘の上の方からは時々泉が  
わき、小道の千りを流し清め、穴  
に流れ込みます。この穴が実にナ

ポレオン(3世)時代に完成したパリーの  
大地下溝へ通ずる下水道なのです。  
パリーには表面の華やかさばかりで  
なく、このようなところにも市民  
の情熱と汗の結晶が実っているよ  
うでした。

また陰惨な歴史も刻まれていま  
す。世界で最も美しいといわれる  
コンコルド広場、そこにはかつてギロチ  
ンが置かれ、権力をほしいままに  
した王妃マリー・アントワネット、そして彼  
女を断頭台に送った革命の闘士、  
ダントン、ロバスピエルもまたそのギロチン  
で首を切られ血を流し果てたので  
した。

しかしまたミラボーによって正面  
に「偉大なる諸君に祖国は感謝す  
る」と書かれたパンテオンには、人間  
を暖かいこころでみつめ、よごれ  
果てた人間をも限りなく愛した人  
達、ジャンジャックルソー、エミール・ゾラ、ビク  
トルユゴーなどが眠っているの  
です。

そういえば、Bさん、わたしに  
はどうしても書かねばならないも  
うひとつの感慨がありました。



今度の旅行の一行の中では、わ  
たしと都立松沢病院院長江副先生が

精神科の医師でした。コシアン病院を見学に行つた一行と離れて、どんなに不義理をしても、二人でピセントール病院に行つてみようとしていました。英語が通じない（誇り高いフランス人は知っていても英語を使わない）パリでも、どこにか行きついて、苔むしたピセントール病院の小さなアチ型の門をみつめました。その前の小さな広場の高速度路のかげに、フリップピネルの像がひっそりと建っていました。

右手にひさちぎられた鎖を持ち、青空のかなたをみつめて立っていました。その膝にまつわりつくようにして女の人がピネルの顔を見上げています。「あつた、あつた、じつと見つめる江副先生の目に、キラリと光るものがありました。半生を精神病者のために捧げた医師のここに、フランス革命の折、あらゆる権力や無知な社会の人達の迫害を受けながら、狂女達を鉄鎖や枷から解放したピネルに深く共感するものがあつたのでしよう。

わたしも胸に熱いものがこみ上げてくるのを覚えました。このパリのひとりの市民が自分の持場で仕事と真剣に取り組んだその情熱が、ところと歳月を経たわたし達

の胸に脈打っているのだなと思ひました。



この頃、日本では精神医療に対して、いろんな批判が浴せられていきます。わたしはしかしこのピネルに共感する気持ちを持ち続けて、わたしの天職を全うしようとして、ひそかに誓ったのです。

医療にたずさわる者が、日々励み、おのが技術を研鑽することは当然のことでしょう。しかし、昔から上医と下医があると言われまます。Bさん、貴方達看護婦さんもわたし達の仲間ですから、どうか専門バカのような下医にならないようにして下さいね。医師であり看護婦であることのおののきをいふのも忘れない上医になって下さい。

はじめて患者の前に立った時のあの感激を、いつも忘れないようにしたいと思ひます。診てやる。治してやる。というような小人の傲慢な思い上がり、今日の医療の危機を招いたとも言われますし、東大病院の闘争を頂点とした学園紛争の根となつているとも言われます。わたしは、ピネルの象の前で、改めてそれらのことを考えました。

さて、駆けまわり、ところどころかりま見ただけなのですが、偉大な文明は、市民のひとりひとりの情熱と汗と、そして人を愛する暖かいこころによって、えいえいとして培われて来たものであると思ひました。

Bさん、わたしの旅も終りに近づきました。残りおしく思ひますが、故国に帰れると思つくと、懐かしさがひとしおです。ではお元氣で。

黑板

前院長永田實男が他界して、今月で3年が経ちます。先代の意思を継承しつつ、よりよい医療を提供してまいります。

編集委員一同

